

木場潟公園の令和3年度管理状況

様式 2

施設所管課	土木部公園緑地課
施設管理者	公益財団法人 木場潟公園協会
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
中期経営目標 (H30～R4)	①利用者数を5年間で5%以上増加させます。 ②利用者アンケートによる満足度95%以上を目指します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<p>①公園の話題、規制等は全園地が随時共有し、来園者への周知を図った。</p> <p>②アンケート、投稿メール、日報などの職員に対する意見等は、全員が共有して接遇に努めた。</p> <p>③木場潟公園ホームページからの公園に対する苦情要望、公園利用に関する問合せや申し込みが利用しやすくなった。</p> <p>④流し舟の情報は、ホームページに予約システムを導入して予約の状況を自らが確認しながら申込みいただいている。</p>
② 広報活動	<p>①ホームページ、フェイスブック等を活用して公園の情報発信に努めている。</p> <p>②四季の希少な植物情報は、随時新聞やテレビの報道機関を活用して来園者の増加につながった。</p> <p>③木場潟を通じた多くの環境団体と連携した環境保全、環境教育、ボランティア活動を推進した。</p> <p>④イベント活動の、木場潟公園マラソンは小松市陸上競技協会と連携して、コロナ感染リスクの高い小中学生を除いて開催を継続した。</p>

(2) 令和4年度における取組内容の見直し等

実施内容
西園地の展望休憩所において、新たにお月見コンサートを実施予定

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H26～28 年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	前年度比	基準値比	R4年度 (目標値)
(1) 利用者数 (人)	708,058人	786,595人	749,951人	752,299人	100.3%	106.2%	745,000人
(2) 貸館稼働率 (%)					.0 ^{ポイント}	.0 ^{ポイント}	
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス (%)	94.7	98.0	99.0	99.0	.0 ^{ポイント}	4.30 ^{ポイント}	95.0
施設の維持管理 (%)	94.5	96.0	99.0	100.0	1.0 ^{ポイント}	5.50 ^{ポイント}	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置による閉鎖期間が長かったものの、感染防止対策を講じながらの利用が浸透したほか、休日の天候に恵まれたことなどにより微増となった。	同左
貸館稼働率		

<利用者アンケート結果 (令和3年4月～令和4年3月実施 有効回答数101件)>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	43.0	56.0	1.0	0.0
施設の維持管理 (%)	41.0	59.0	0.0	0.0

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	毎日
(2) 設備保守点検	遊具・・・日々点検、定期点検9月に実施 その他の施設・・・専門業者に委託 その他は、公園協会職員による点検
(3) 植栽維持管理	樹木、芝、園地についてその一部を専門(造園)業者に委託
(4) 警備	園内巡回
(5) 小規模修繕	老朽化施設、備品の更新、枯損木の伐採

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	①緊急時の連絡体制の確認 ②消火器等設備の設置場所の再確認
(2) 個人情報の管理状況	個人情報の取扱いについて、事務局長が責任者となり年度当初及び中間期に職員に対し周知徹底している。

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
貸しポート	76		
シャワー	1		
合計	77	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
貸しポート	51		
シャワー	0.1		
合計	51.1	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	52,350	人件費	17,547
利用料収入	51	光熱水費	4,095
その他	17,473	修繕費	4,710
		緑地等施設管理費	32,034
		その他	11,488
合 計 ①	69,874	合 計 ②	69,874
収支差額 ①－②	0		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和3年4月	歩行者・自転車利用者は、通行帯が決まっているにもかかわらずマナーを守らない人が多い	マナーを守らない方を見つけた時には、随時注意していきます。(4/22)
令和3年6月	園内の樹木、トイレを増やしてほしい	県と協議します。(6/10)
令和3年11月	北園地休憩所での喫煙を何とかしてほしい	多目的展望台に設置していた灰皿を撤去し、北園地戸外エリアに移設し解消(12/21)
令和4年2月	マスクを付けない利用者が多い。着用を呼びかける看板すらない。	未着用者を見かけたら注意していきます。ランニングの方には、人との間隔を取るよう指導していきます。(2/13)

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
該当なし。		

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保護と共に、他機関と潟を利用し、利用者の利用促進を図っている。 ・公園の話題を報道機関に提供するのに加え、季節ごとの公園の魅力をSNSを有効に活用し、利用者へ情報発信を図っている。 ・スマートフォンなどに対応したホームページを作成し、動画や画像による視覚的な情報発信や、操作性・利便性の向上を図るなど、利用者増に向けた取組を行っている。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕・除草・除雪等において仕様書の範疇を超えて維持管理運営をしている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターを活用し、人件費の削減に努力している。 ・光熱水費について、毎月のメーター確認を実施して無駄な費用負担を削減している。 ・小松市が実施する流し舟の運航への協力を積極的に行っている。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> リニューアルしたホームページでの積極的な情報発信の実施、経費の節減や修繕を行い、コロナ禍においても多くの利用や満足度の向上につなげている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項